

争議の早期解決を求め全労連・東京地評

争議支援総行動で「明治ホールディングス」を包囲

131団体385名が 争議解決を求め抗議の声

4月26日に行われた東京争議団による総行動に引き続き、5・29全労連・東京地評による争議支援総行動では、静岡県労連からも24名（静岡の申立人1名を含む）が上京するなど、131団体（385名余）の支援者によって明治HD（株）を包囲して長期争議の早期解決を強く求めました。会社は相変わらず玄関を閉ざして警備員を立たせ、「要請書」の受け取りすら拒否する不誠実な対応に終始しています。

長期争議の 早期解決決断を経営陣に求めます

消費者が深刻に求めている「食の安全・安心」をないがしろにする会社の危機管理意識の欠如は、不祥事（放射能混入製品など）や不正行為（官製談合事件）の続発と企業利益が一向に伸びない異常な経営状況を生じさせ、低迷状態から未だに脱却できないでいます。

6月27日開催の株主総会では、そ

の最大の要因が、もの言う労働者を差別し人権を否定してきた半世紀以上に及ぶ異常な労働者管理にあることを再認識させ、健全な企業として飛躍するためには、都労委命令を待たずともなく長期争議の一日も早い解決の決断が経営陣に求められていることを厳しく質して行きたいと思

救済命令交付を求め 都労委要請を継続

都労委での結審から、1年6カ月が経過した5月14日の要請でも命令

の交付時期が定まらない状況を踏まえ、『なんとしても株主総会前の命令交付を！』と強く求めましたが、新任の門柳課長は交付時期の明言を避けました。その後、5月に開かれた2回の公益委員総会においても本件の事案がかからなかったことから、株主総会前の命令交付は難しい状況が推測されます。

しかし、いずれにしても交付時期が迫っている事は確かであり、今後、不当労働行為の事実認定と賃金格差の将来に向けた一括是正を内容とした救済命令を求める要請を継続

差別を認めた「勝利命令」で、
長期争議の解決を迫ります。



明治乳業争議支援共闘会議 (03-5606-5285) 明治乳業争議団 (047-332-5698)

E-mail : mjnyu88sgd@wing.ocn.ne.jp ホームページ 明治乳業争議団=検索

明治ホールディングス

「貴方達は純粹な株主ではない」

法まで無視する「許されない株主差別」

不祥事・不正に

なぜ答えられない！

私たちが争議団、そしてその闘いを長年にわたって支援する共闘会議の多くが明治ホールディングスの株主でもあります。目的は株主総会において会社の健全な発展と長年にわたる「労働争議」の解決を目指すことにあります。

明治乳業は2011年4月に明治製菓と合併「(株)明治」として新しくスタートした以降にも、製品事故や不祥事が連続しています。

① 2011年9月には、町田市の学校給食用牛乳から放射性セシウム6ベクレル/kgが検出。

② 同年12月6日には、埼玉工場の乳児用粉ミルクからも同30・8ベクレル/kgが検出され、40万缶の回収(無償交換)。

③ 2012年8月29日には、粉ミルク落札価格の官製談合事件で、東京支社に家宅捜査が入る不正行為。

④ 同年8月31日には、「明治ミルクプリン」製品の細菌汚染で23万個を自主回収など、極めて異常な事態が続いているのです。

体質的「隠蔽」は国民の安心・安全の願いに背を向ける行為

私たちは、このような不祥事や不正行為の続発を、株主として黙過することとはできません。何故なら、事件発生の背景や原因を隠ぺいする閉鎖的な企業体質を改善しない限り、企業の存続



すら危ぶまれる事態に陥るのではないかと危惧するからです。

明治HD及び(株)明治が、減収・減益から脱皮できない要因(不祥事)を謙虚に見直し、早期に健全な企業活動に立ち戻ることで消費者の信頼が回復することを株主として強く望むものです。



「株主平等の原則」は会社法第109条1項

私たちは一人の株主として数々の不祥事に象徴される経営姿勢を正すことを目的に明治HDに面会を求め質問・意見を提言したにもかかわらず、「あなたがたは純粹な株主ではない」などの発言は株主を差別扱いするもので法に照らしても許されるものではありません。

4月26日株主37名連名による再質問書を改めて提出しましたが、責任者は主張中、会議中とした理由で責任回避する始末です。代理とする方を通し、一回目の質問に対する回答と、会社法第109条1項に定められている「株式会社は、株主に対し、その有する株式の内容及び数に応じて、平等に取り扱わなければならない。」とした株主平等の原則に基づいて「純粹な株主」表現の真意を求めています。このことに対して、株主を冒とくし続けているのが浅野茂太郎社長はじめ経営陣の姿勢なのであります。

命が大切にされる世界を「地球から原発をなくしましょう。」